



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.34
令和4年12月 1日
文責：校長 酒井 健

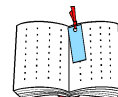
◇ 「フリーマーケット」？・・・ではありません。



今、職員室前の廊下に、写真のようなコーナーが設置されています。これは、大槻小学校「フリーマーケット」ではありません。これまでに落とし物として届けられ、誰も受け取りにきていないものなのです。ジャンパー、帽子、水筒、手袋、ボール、上着、ヘルメットまであります。私が小学生の頃は、鉛筆一本、消しゴム一つなくなると、親に指導され、必死に探していたものですが・・・時代が豊かになったということでしょうか。きっと、この中には、子どもたちが探していたけど見つからなかったというものもあるかと思います。

この落とし物コーナーは、教育相談中、職員室前に設置しておきます。「これ、もしかしたら・・・」「探していたけど、家がない」という方は、教育相談でお越しの際に、またはいつでも構いませんのでお取りにおいでください。その際、職員室に一言、声をかけていただければと思います。

SDGsが叫ばれている今です。この落とし物がすべて、持ち主の子どもたちのもとに戻ることができれば・・・と思います。よろしくお願いいたします。



◇ 2学期の本の貸出数が出ました。

大槻小学校の全校生が2学期に図書館から借りて読んだ本の冊数が、学校司書の大場先生から出されました。その冊数は、10,192冊。とても多いですね。これだけの本を子どもたちは読んだということです。読書離れ、活字離れ・・・という言葉聞きます。自分の小学校時代を振り返ってみると、たくさん読書をしていたなと思います。パソコンも、ゲームも、ユーチューブもなかった時代です。

江戸川乱歩が好きで、ドキドキしながら、ワクワクしながら読んでいたことを思い出します。読書はただ文字を読むだけではなく、頭の中で、心の中で、情景やイメージを膨らませることができます。私は、このイメージを膨らませる、想像力を膨らませることが大切であると感じます。これからの季節、家で過ごす時間が多くなります。ぜひ、読書に親しむ時間を増やしてほしいですね。

校長のひとりごと

12月に入りました。本当に時が過ぎるのは早いものです。突然ですが、私は、相田みつをさんの詩に共感するところがたくさんあります。どれも、「そーだよね」「なるほどね」と感じます。

つまづいたって
いいじゃないか
にんげんだもの
みつを

ただいるだけで
あなたがそこに
ただいるだけで
みんなのところが
やすらぐ
そんな
あなたにわたしも
なりた
みつを

優しい、穏やかな
心とむ・・・そんな
気持ちにさせてくれ
る詩がたくさんあり
ますね。
「にんげんだもの」
という言葉、大好き

です。明日への希望が沸いてきます。明日も頑張ろうと思います。だって、「にんげんだもの」！！

